



2023年1月16日

各位

ENEOS株式会社
ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

再生可能エネルギー事業統合について

ENEOS株式会社（社長：齊藤 猛、以下「ENEOS」）とジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（社長：竹内 一弘、以下「JRE」）は、本日、再生可能エネルギー事業に関する吸収分割契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。本契約により、本年4月1日付でENEOSが有する国内の再生可能エネルギー事業のうち、太陽光・陸上風力・洋上風力発電事業^{*1} および、それらに関連する事業をJREに移管し、両社の事業を統合する予定です。

ENEOSは、「低炭素・循環型社会への貢献」を掲げる2040年長期ビジョンの実現に向けて、再生可能エネルギーを軸とした発電事業を国内外で積極的に推進しており、2022年1月のJREの全株式取得^{*2}により、日本を代表する再生可能エネルギー事業者への飛躍を目指してまいりました。

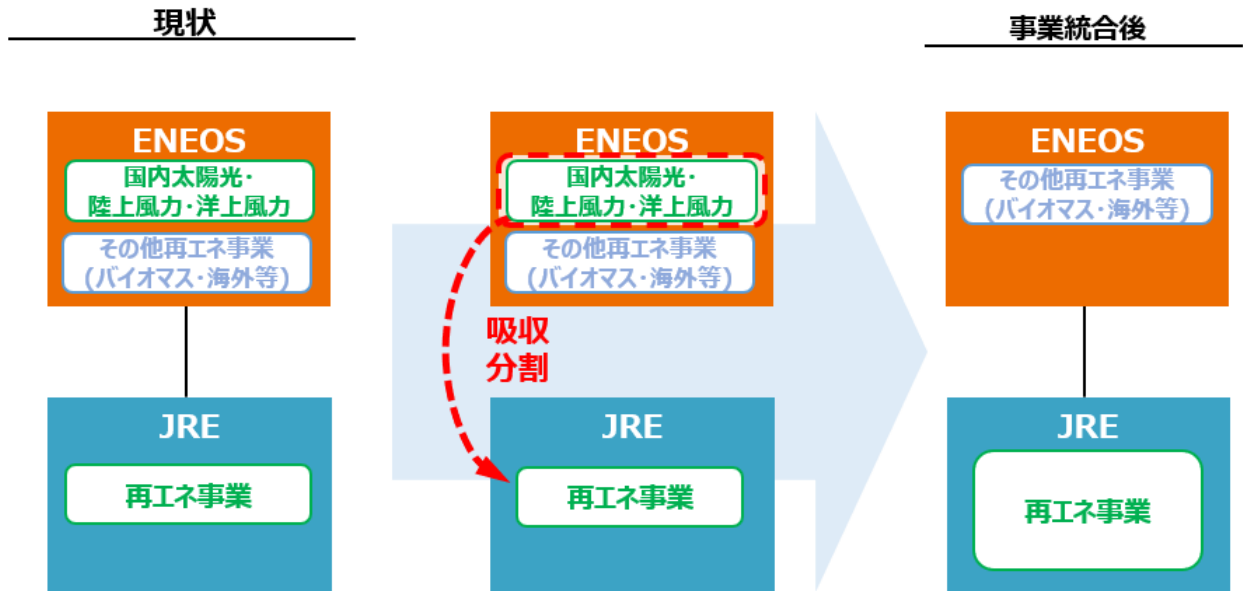
JREは、「再生可能エネルギーの開発を通じ、幸福で持続可能な社会創りをリードする」ことをビジョンに掲げ、電源開発から発電所の運転・メンテナンスまで一貫して長期にわたり担うことで、社会に貢献していくことを目指してまいりました。

今般の事業統合により、ENEOSが保有する事業・資産と、JREが有する専門性・豊富なノウハウ・スピード・開発力・運営力・人材を結集し、効率的な開発・運営を推進することで、ENEOSグループの再生可能エネルギー事業を、次世代型エネルギー事業の柱とするべく成長させてまいります。

なお、事業統合後、JREの国内外における運転中・建設中の再生可能エネルギー事業の総発電容量は、約100万kWとなります。

今後も、ENEOSグループは、再生可能エネルギーをはじめとした環境配慮型エネルギーの供給を積極的に推進し、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標11「住み続けられるまちづくりを」および目標13「気候変動に具体的な対策を」につながる脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。

<吸収分割契約概要図>



※1 JREに移管する運転中および建設中の発電事業

国内太陽光発電事業	29.0万kW
国内風力発電事業	0.5万kW
合計	29.5万kW

上記の事業の他、開発中の発電事業についても移管対象事業となります。

※2 [当社子会社によるジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社の株式取得（連結子会社の異動を伴う孫会社化）に関するお知らせ](#)

以上